

～まづろわぬ民～

一般社団法人ひとことつむぐ
設立8周年記念イベント

5/31 2026
SUN

16:00 START
15:00 OPEN
19:00 END

白崎映美 &

東北6県ろ～るショー!!

「猪飼野」から「東北」へ
つなぐおもい

いま、伝えたい!わたしたちの声を未来へ

ここ猪飼野(生野区)は、多様なルーツが混じり合い、様々な「壁」を乗り越えながら人々が「共に生き、暮らし合う」街。自分の「根っこ」に胸を張り、しなやかに生きていけるよう応援したい——。そんな願いから「ひとことつむぐ」は始まりました。8周年の節目に私たちが選んだテーマは、アイデンティティの源(みなもと)である「ふるさとへのおもい」です。猪飼野で紡いできた絆と、東北から届く力強い歌声。わたしたちの声は、きっと未来を変える力になる。これまでの感謝と未来への誓いを込めて開催します。「つなぐおもい」を、ぜひ、一緒に。

- 第一部
- 韓国伝統芸能団 カッチコルム
 - 百年芸能祭 鎮魂ちんどん隊
 - 鼎談「子どもたちへ未来へつなげたいおもい」 森松明希子×久保 敬×足立須香

第二部 白崎映美 & 東北6県ろ～るショー!! <https://emishirasaki.com/to6/>

かつて「まづろわぬ民」(従順でない、迎合しない、という意)と呼ばれた東北人スピリッツを胸に抱き、東北出身の音楽家や東北を想う指折りのミュージシャンが集結。ロック、ジャズ、歌謡、民謡などをぶちこんだ雑食性に、東北の土着感満載のサウンドに様々な日本文化とのコラボレーションによるステージは大熱狂間違いなし! 東北のじっちゃん、ばばちゃん、みんなさ、いい事いっぺり来い来いどーんと来い!

日 時 >>> 2026年5月31日(日) 15:00開場 16:00開始
(19:00頃終了予定)

会 場 >>> 阿倍野区民センター 大ホール

チケット >>> 5,000円(全席自由) 販売詳細は裏面をご覧ください。

主 催 >>> 一般社団法人ひとことつむぐ machinoyosuga@gmail.com
〒544-0033 大阪市生野区勝山北5丁目7-11 まちの拠り所～Yosuga～



聞いて極楽、
歌って天国!

出演・登壇者紹介

第一部



韓国伝統芸能団 カッチコルム 「까지컬음」
在日二世・三世として大阪に育ち、母国の文化に魅了された者達が紡ぎだした韓国文化の追求を目指して結成した韓国伝統芸能団。カッチ「カッチ」とは日本語で「カササギ(鶉)」, コルム「コルム」とは「歩み」を意味する。カササギは両足をそろえてステップを踏むように歩くことから、私たちが足並みをそろえ、演奏することに喜びを感じながら、奏者・聴衆が一体となり、その場にいるすべての人々が胸躍するような空間を創り出したいという想いが込められている。



百年芸能祭 鎮魂ちんどん隊
関東大震災100周年を契機に立ち上げられた芸能者たちのゆるやかなネットワーク「百年芸能祭」から生まれたちんどん隊。百年芸能祭は、芸能により近代世界に於ける無数の理不尽な死を鎮魂するとともに、どんな命も命としてまっとうに遇される新しい世界を目指す場/祭りをこの世に無数に開いていく試み。



森松 明希子
福島県在住中に東日本大震災及び福島原子力惨禍に被災、0歳と3歳の2児を連れて大阪へ国内避難(母子避難)、東日本大震災避難者の会 Thanks & Dream(サンドリ)を主宰。原発被害者訴訟原告会全国共同代表原賠賠償関西訴訟原告団代表を務める。国内外で講演を続け、災害による被災者・避難者・原発事故被害者の人権について訴える。2018年スズメの国連人権理事会にてスピーチ。参議院東日本大震災復興特別委員会に参考人として招かれ、被災当事者として陳述を行う。「黒田裕子賞」[女性リーダー支援基金]受賞。著書に「母子避難、心の軌跡」(かもがわ出版、2013年)、「災害からの命の守り方ー私が避難できたわけー」(文芸社、2021年)など。資料: 意見陳述書(全文) 原賠賠償関西訴訟第33回口頭弁論期日(2022年5月26日)、最終意見陳述書(全文) 原賠賠償関西訴訟第57回口頭弁論期日(2025年12月24日)



久保 敬 (ガッツせんべい)
1985年大阪市立小学校教諭となる。2022年3月、37年間の教師生活を終え、定年退職。コロナ禍の2021年4月、突然、全小中学校の全面オンライン授業を報道発表した松井一郎大阪市長(当時)に対して、大阪市立木川南小学校長として「提言書」を送付したことがメディアで取りあげられ、大きな話題に。結果、2021年8月、職務上の義務に違反し、教育公務員としての職の信用を傷つけたとして「文書訓告」処分を受ける。2023年2月、文書訓告取り消しを求め、大阪弁護士会に「人権侵害救済申し立て」を行う。著書に「提言書」にまつわる出来事を記録した「フツの校長、市長に直訴」(解放出版社 2022年4月)、小学校5-6年を担当したお笑いコンビ「かまいたち」の演家隆一さんと新任時代に担任した子どもたちへのインタビューを中心に、当時のエピソードなどが載った「僕の好きな先生」(朝日新聞記者 宮崎亮著 朝日新聞出版 2023年9月)、ガッツせんべい4コマまんが77選(解放出版社 2025年3月)がある。



足立 須香
一般社団法人ひとことつむぐ代表理事 元大阪市立小学校教員 最後の勤務校であった元御幸小学校(現IKUNOパーク)の再編統合(閉校)を契機に御幸森地域に移り住み「まちの拠り所～Yosuga～」を開発。子ども食堂等の支援活動を行いながら、まちライブ러리、映画上映、講演、演劇、など多様な地域文化発信も積極的に実施している。「ここに来たならなかなかなも」[猪飼野(よすが)もあるかも]を掲げて、地域のおばちゃんとして日々「おせっかい」に精を出している。「猪飼野(生野)」を愛する人たちがつなぐ、誰もが安心して楽しく暮らせるまちづくり活動に参画している。久保敬元校長の文書訓告取り消しを求める提言(ガッツせんべい提言) 共同代表

第二部



白崎 映美
山形県酒田市出身。1990年、上々颯風でエピックソニーよりデビュー。JAL沖縄キャンペーンCMタイアップ&出演、スタジオリブリ「平成狸合戦ぽんぽこ」の映画音楽担当、シンディ・ローパーのアルバムレコーディング&ライブの参加。海外ツアー等、多岐に渡る活動で支持を集めた。(現在活動休止)
2011年の東日本大震災を経て「東北さいい事来ーい」と、バンド「白崎映美&東北6県ろ～るショー!!」を結成。現在は、ソロライブの他、「白崎映美&東北6県ろ～るショー!!」、そして、地元酒田市にある東北最後の「グランキャバレー白ばら」を盛り上げようと結成した「白崎映美&白ばらボーイズ」でのライブの他、「16年にはフォトレイ」(文芸春秋刊)、「22年「あったことほさき」東北歌姫♡エッセイ集」(ばるす出版)を発売。現在は、レギュラーで山形新聞でのコラムの掲載、YBC山形放送「白崎映美のちょっと寄っていけ RADIO GAGA」放送、他、TV、映画、舞台にも出演。酒田観光大使、モッシュ山形代表理事、2017年酒田市よりふるさと栄誉賞受賞。

チケット購入方法 >>> お名前、住所、連絡先(電話番号、メールアドレス)、枚数、その他(ご要望、配慮事項等)明記の上、予約フォーム(左のQRコード)またはメールでお申し込みください。お振込みは以下の口座をお願いします。

[予約フォーム]

振込先 ゆうちょ銀行 記号番号: 00990-5-334157 店名: 〇九九(ゼロキューキュー) 店番: 099
預金種目: 当座預金 口座番号: 0334157 口座名称: シヤ)ヒトコツムグ

問い合わせ先 まちの拠り所～Yosuga～ 〒544-0033 大阪市生野区勝山北5丁目7-11
E-mail: machinoyosuga@gmail.com TEL: 06-6796-9897(月～金/14:00～17:00/留守電あり)

